



海外駐在員現地レポート・上海事務所（2025年10月）

報告者 日中経済協会上海事務所 北海道経済交流室長 亀井 良司

（件名）北京での道産品PRについて

1. イベント概要

- 10月16日に北京で開催された「日本食品展示・商談会」に出展し、道産食品や道産品識別マークのPRを実施しました。商談会の概要は次のとおりです。

【日本食品展示・商談会】

- 日 時：2025年10月16日（木）11:00～16:00
- 会 場：在中国日本国大使館
- 主 催：北京日本フード会、在中国日本国大使館、JETRO
- 出展者：食品メーカー、卸売、自治体等52社・団体
- 来場者：飲食店、ホテル、卸売・小売等700名以上
- その他：商談会と併催で「日本料理コンテスト」を実施

2. 出展状況等

- 会場では調味料（味噌・醤油、砂糖、焼肉のたれ、ポン酢等）、加工食品（レトルト食品、豆乳、ラーメン等）、アルコール飲料（日本酒、ビール、焼酎等）、食器・包装資材など日本食に関する様々な商品のプロモーションが行われました。
- 来場者は北京市内だけではなく、国内の幅広い地域から、日本食に関心を持つ多数のバイヤーが来場していました。
- 人気のあったブースは、①展示商品の絞り込み、②競合商品との違いを分かりやすく説明、③他のブースの商品とのコラボ、といった工夫を取り入れていました。

3. 北海道ブース出展結果

- 北海道ブースでは、道産米やオニオンスープの試食・試飲を交えながらPRを実施しました。隣接するブースでは道産酒を含む日本酒の展示・試飲が行われ、北海道ブースと連携しながらPRを行いました。
- ブース来訪者からは「北海道ブランドは中国での認知度は高く、イメージが良い」、「北海道の複数の商品をまとめて販売したい」などの感想・意見が聞かれました。
- 道産米については、現地卸売企業からその場で注文が入った他、複数のスーパー、飲食店などから取引に向けて商談を継続していくとの話がありました。
- また、商談会と同時開催された「日本料理コンテスト」でも道産米が指定素材として提供され、参加した料理人や審査員から高い評価を受けました。
- オニオンスープについても、試飲を通じて商品に関心を寄せるバイヤーが複数おり、今後継続的な商談が進められる見通しです。
- 今回来場したバイヤーには道産品全般に強いニーズを持つ先もあり、今後も接点を維持しながら、道産品の販路拡大の取組において連携を検討していく予定です。



北海道ブース



日本酒ブース



日本料理コンテスト表彰式

